

女性人材育成事業【宮城県気仙沼市】

地域の実情と課題

- 本市では、平成18年3月に市町合併し、「男女共同参画都市宣言」を行うとともに、「男女共同参画推進条例」に基づき、平成20年3月に新市としての「気仙沼市男女共同参画推進計画」を策定している。
- 積極的に各種施策を推進しているが、性別による固定的な役割分担意識や、性差に関する偏見、社慣行等には、根強いものがある。
- ・平成28年市民意識調査の結果
 - 役割意識に同感しない人 41.1%
 - 社会全体において男女が平等になっていると思う人 27.4%

目的・目標

- 【目的】
 - 「何かをしたい」「仲間を作りたい」などの思いを持ちながらも、行動に移せなかった女性を掘り起し、前向きな行動意欲を持った女性を育成。
 - 女性が様々な分野で活躍することにより、地域の活性化を図る。
- 【目標】 受講生の7割以上の参加、参加者の満足度80%以上
女性就業率63.8%

事業の特徴

- 家族に遠慮して参加をためらう受講生の心理的負担を軽減するため、月1回程度、日曜日の午後、託児付きで講座を開催。
- 連続講座、年齢要件は18歳以上とすることで、普段接点のない世代の女性同士の新たな交流・つながりの構築を図った
- 学校法人明治大学と連携協定を締結し、総合大学ならではの教育ノウハウを生かしたカリキュラムとした。
- 受講対象者を市内在住又は通勤、通学している女性とし、近隣市町在住の女性も参加可能とした

連携団体

気仙沼市男女共生庁内連絡会議
気仙沼市男女共同参画審議会
学校法人 明治大学
気仙沼市各種女性団体連絡協議会

事業の効果

- 成果物であるフライヤー(広告)は、本事業や気仙沼市の魅力について受講生が自ら発信することを目的に製作した。
- 各回の講座に関するアンケートを実施。
 - 新しい仲間づくり 役だった60%
 - 講座全体について 非常に満足+満足 70%
- 「気持ちが前向きになった」、「何とかしたいと思ってる人が多数いることを実感し刺激になった」、「意識を変えたい」という意見があった。

今後の課題

- 受講生同士の交流について
 - 交流をさらに促進し、地域のネットワーク拡大に資するプログラムを検討する。
- 受講生募集に関すること
 - 自主的な参加申し込みが増えるよう、広報活動の見直しが必要

事業の概要

【事業】 女性のための自分力養成講座

【概要】 自分という情報を「実践的」に発信する力を身に付け、フライヤー（広告）を作成し、発信する。

テーマ 「貴女（あなた）の魅力をみんなに伝えよう -効果的な情報発信を目指して-」

公開講座 「憲法って難しいものではないでしょうか？ -22歳で起草に関わったペアテさんに聞いてみませんか-」

第1回 自分を魅せる -魅力を伝える自己紹介-

第2回 ログを作ってみよう -思いや価値が見える形で伝える-

第3回 伝わる言葉, 活きる数字 -他人の作品の分析-

第4回 人に伝わるインパクトある言葉 -企業広告を通じて-

第5回 実践ワークショップ -フライヤーづくり-

第6回 修了式



公開講座



第1回講座



第2回講座



第3回講座



第4回講座



第5回講座



第6回講座